

2017年 東大数学 文系第1問

1、難易度、解答時間や得点の目安

- ・難易度は易～やや易。
- ・15～20分で20点取りたい。上級者は10分で終わらせることも可能。

2、回答への方針

- ・ Q/P を計算するまでの方針は非常に簡単。すぐ見抜ける。
- ・ s と t が不明量なのに対し、「 A と B がただ1点を共有する」条件で1文字分の情報が消える。
結果、不明量は1文字分相当になる。
- ・ P と Q の面積を正確に計算して、 Q/P に代入。そのあと、 s と t のどちらを消すか（もしかしたら消さないか）を検討。
- ・あとは、計算結果の関数の種類によって、手法を変える。
- ・ただし、分数式の最大最小なので、相加相乗や $=k$ において実数解の条件も想定に入れておくこと。

3、この問題から学ぶべきこと。

- ・大方針を見抜く力。元と式の本数、最大最小問題へのアプローチ。
- ・パラメータを消去する際の、定義域の求めかた。
- ・最大最小問題へのアプローチの仕方